

新しい生活様式を踏まえた防災事業について
～令和2年度板橋防災プログラム（仮称）の実施～

1 背景

区では、地域の自主防災力の向上などを目的として、毎年3月に「総合防災訓練」、11月に「重点地区訓練」を実施しているほか、区民の災害への備えの充実強化を図ることを目的として「防災フェア」を実施しており、合わせて1万5千人以上の区民が参加している。

一方、新型コロナウイルス感染症の流行はいまだ終息の兆しがみられず、感染リスクを徹底的に排除し、区民の心情にも配慮したうえでの事業の実施が求められている。

2 令和2年度の方向性

いずれも事業も、多数の参加者が会場に集い、参加者同士の接触も避けられない内容となっており、感染防止対策を講じながら従来どおり事業を実施することが困難であることから、令和2年度の「総合防災訓練」「総合防災重点地区訓練」「防災フェア」については、いずれも中止とし、新しい生活様式にも対応した「令和2年度板橋防災プログラム（仮称）」を実施する。

3 事業内容（案）

別紙「概念図」のとおり

4 スケジュール

令和2年	10月	災害対策調査特別委員会報告 事務事業連絡会報告
	10月以降	各事業の調整
	11月以降	一部事業開始（スマホ操作講座・動画配信など）
令和3年	3月	事業実施重点期間（3月6日～14日） ・ローリングストックキャンペーン ・一斉シェイクアウト訓練

令和2年度板橋防災プログラム(仮称)の概要

新型コロナウイルス流行下における防災事業の方向性

事業実施の前提条件

- ・ 三密を回避
- ・ 一定数以上の人員を集めない
- ・ 集合イベントは安全管理を徹底

対応方針

- ◆ 前提条件をクリアしたうえで従来通りの総合防災訓練・重点地区訓練・防災フェアを実施することは困難 → 今年度は中止とする
- ◆ 新しい生活様式に対応できる防災プログラムを試行する

動画コンテンツの拡充 (興味の喚起・他事業への誘導)

風水害に備える

- ・ 注意報、警報、特別警報の意味するところ
- ・ 区役所が発令する避難勧告、避難指示の意味
- ・ 勧告がなされた場合にとるべき行動



家庭の備蓄モデル

- ・ 備えるべきもの
- ・ 備えるべき量
- ・ ローリングストック

“やってみた”動画 / How to 動画

- ・ 備蓄食、食べてみた!
- ・ 段ボールベッドで寝てみた!
- ・ 避難所まで歩いてみた




コラボ動画

- ・ 発信力のある方とコラボ動画
- ・ 区内各企業、etc.

「知る・考える」 「学ぶ」 「備える」
さまざま場面で防災への活動を促進

知る・考える



ギャラリーモールとの連携

- ・ 区役所1階ロビー「ギャラリーモール」
- ・ チラシ等の配布

学ぶ

動画コンテンツの拡充 (学ぶ)

資器材取り扱い

- ・ スタンドパイプ
- ・ 消火器 等

避難所運営

- ・ 備蓄品紹介
- ・ 運営の基本

スマホ・携帯操作講座

- ・ 基本操作を学ぶ
- ・ 携帯キャリア各社との連携
- ・ 災害情報を自分で入手する

備える

ローリングストックキャンペーン

- ・ 区内ショッピングセンターに協力を依頼
- ・ 備蓄品の特設コーナー
- ・ 備蓄率の向上に直接コミット

一斉シェイクアウト訓練

- ・ 自宅で、学校で、職場で
- ・ 同日同時刻に一斉実施!
- ・ 基本行動の確認!

プログラム実施スケジュール

